

日本学術会議 公開シンポジウム（参加無料）

# 「市民と科学者で考えるこれからのエネルギー」

日時：平成28年9月2日（金）13：00～17：45

場所：日本学術会議講堂（東京メトロ千代田線「乃木坂」駅⑤出口徒歩1分）

**開催趣旨：**エネルギーをめぐる日本の状況にとって、電力料金の上昇、火力発電に大きく依存する電源構成の脆弱性、中東地域の政情不安定など、安定したエネルギー需給に対する懸念は依然として大きく、また、昨年7月の長期エネルギー需給見通しにおいて2030年に目指すべき到達点が表示されましたが、そこに至る道のりは明らかではなく、決して平坦ではないと予想されます。こうした状況のもとで、できる限り多くの国民がエネルギー問題について真剣に考え、様々なエネルギー選択肢が持つメリットとリスクを理解する重要性がますます高まっています。本シンポジウムでは、エネルギーに関連する分野の中から、いくつかのテーマを取り上げ、現状や今後の課題についての講演とパネルディスカッションを行い、次世代のエネルギーを多様な視点から考える場を提供することを目的としています。

- 13：00 開会挨拶 阿尻雅文（東北大学教授、学術会議第3部会員）
- 13：05 趣旨説明 藤岡恵子（株式会社ファンクショナル・フルイッド、学術会議連携会員）
- 13：20 講演「日本の技術・知見によるアジア・アフリカの無電化地帯の解消」  
坂田一郎（東京大学教授、政策ビジョンセンター長）
- 13：50 講演「Wishing for CO2-free Hydrogen」  
辰巳敬（独立行政法人製品評価技術基盤機構理事長、学術会議連携会員）
- 14：20 休憩
- 14：30 講演「次世代自動車技術」  
大聖泰弘（早稲田大学教授）
- 15：00 講演「種子島の事例に見るエネルギーと地方創生と技術導入の試み」  
菊池康紀（東京大学特任准教授）
- 15：30 講演「エネルギーシステムと社会実装」  
梶川裕矢（東京工業大学准教授）
- 16：00 休憩
- 16：10 パネルディスカッション
- 17：40 閉会挨拶 藤田照典（三井化学株式会社シニア・リサーチフェロー、  
特別研究室長、学術会議第3部会員）

問合せ先：化学工学会事務局 citizen\_sec@scej.org

お申し込みはこちらから：[http://scej-main.sakura.ne.jp/citizen\\_sympto/](http://scej-main.sakura.ne.jp/citizen_sympto/)

主催：日本学術会議化学委員会触媒化学・化学工学分科会，公益社団法人化学工学会

共催：日本化学会，触媒学会，エネルギー・資源学会，日本伝熱学会

協賛：石油学会

参加費：無料（どなたでも参加できます）